

ちょっと道德

庭坂小学校
道德便り
研究公開特別号
平成28年11月9日(水)

ちょっと紹介！3の1の授業

10月28日(金) 3年1組の公開研究授業をご紹介します。



- ・ 3年1組
- ・ 指導者
藤原 幸
- ・ 主題
「できなかった親切」
- ・ 教材
「おじいさんの顔」

←席を譲ろうかどうしようか迷っている「ぼく」の気持ちを考えている場面
「譲りたいけど・・・」
「ぼくも座っていたい・・・」
「どうしたらいいのかな。」

授業の最初に紹介した事前アンケートの結果では、「親切にしてもらったことがある」…9人 家族や友達以外の人に親切にしたことがある」…1人、という結果に驚きの声が上がりました。親切はよいことだし、してもらったら嬉しいけど、思ったより自分たちは親切にできていない現実に気付いた3年組の子供たち。どうして親切にするのってむずかしいのかな」アンケート結果から、自分たちの課題をしっかりととらえていました。

「親切を難しくしてしまうものは何なのか」「どうしたら親切にすることができるのか」教材の「ぼく」の葛藤を考えることを通して自分の事として考えることができました。

ご家庭でも親切や思いやりについて話題にしてください。この授業が、相手を思うだけではなく、その思いを親切という行動にうつすことができるようになるきっかけになってくれたら幸いです。

以下は、子供たちが授業の中で考えたり話し合ったりして自分を見つめて書いた「授業のふりかえり」の一部です。

親切にするためには相手のことを考えることが大切

「これからの生活に生かしていきたいこと」

- これから、こまっている人がいたら、相手のことを思う気持ちをしっかりもって、進んで助けてあげたいと思いました。(波來)
- 私は、これからこまっている人を見つけて、すぐに声をかけてあげたいです。(結唯)



「新しく気付いたこと」

- ぼくは、親切にするためには、ゆう気もひつようなんだなあと思いました。(大志)
- 今度からは、電車にお年よりが乗ってきてすわる場所がなかったら、はずかしいけど、ゆう気をもってゆずりたいと思います。(弦輝)

自分を見つめて



「自分について考えたこと」

- ぼくは、友だちや家そくの人にこれからは親切にしようと思いました。(優樹)
- もし、おじいさんみたいに立っている人がいればゆずってあげたいなと思いました。ゆずるだけでなく、いろんなことをしたいです。

(葵瑠)

～自分で考え、みんなで話し合う姿に、成長を感じた時間でした～

文責 藤原 幸)